

平成28年度

事業報告

自：平成28年4月 1日

至：平成29年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成28年度事業報告

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

1 平成28年度研究開発助成金の交付

平成27年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成テーマについて、研究開発に必要な経費を助成した。

ア 名称	平成28年度研究開発助成金
イ 研究開発分野	新素材の開発及び材料の機能に関する基礎的・応用的研究
ウ 助成テーマ	12テーマ（一覧表は下記のとおり：応募64テーマ）
エ 助成金総額	1,200万円
オ 研究期間	平成28年4月から平成29年3月まで 1年間
カ 研究成果	別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成28年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所属	役職等	氏名	
1	2次元単原子層結晶の高効率可飽和吸収による光振幅および光位相制御を用いた高速光スイッチングの研究	徳島大学大学院理工学研究部	助教 工学博士	岸川 博紀	100
2	界面不安定性による超高分子多糖類サクランの一軸配向膜の創製	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	助教 工学博士	桶葎 興資	100
3	フルカラー固体円偏光発光を可能とする有機色素群の合成と評価	岡山大学大学院自然科学研究科	講師 薬学博士	高石 和人	100
4	その場ラマン分光解析に基づくアルカリ金属二次電池用負極材料の創製	鳥取大学大学院工学研究科化学・生物応用工学専攻	助教 環境科学博士	道見 康弘	100
5	有機・無機半導体複合系によるプリンテッド・テラヘルツ・エレクトロニクス	三重大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻	准教授 工学博士	松井龍之介	100
6	シリコン直接結合イオン液体薄膜のナノトライボロジー	京都大学大学院工学研究科材料工学専攻	助教 理学博士	宇都宮 徹	100

7	レドックス応答性ダブルヘテロヘリセンの簡便合成法の確立と機能発現	京都大学大学院工学研究科分子工学専攻	特定助教 工学博士	酒巻 大輔	100
8	新規ペロブスカイト型酸化物における触媒機能開発	大阪府立大学21世紀科学研究機構ナノ科学・材料研究センター	特別講師 理学博士	山田 幾也	100
9	生体骨と同等の弾性率を有する高生体活性骨修復材料の開発	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻	助教 エネルギー科学博士	藪塚 武史	100
10	π 共役分子の縮環連結法の開発による縮環型有機エレクトロニクス材料の創製	大阪大学大学院理学研究科化学専攻	助教 工学博士	谷 洋介	100
11	シリコンナノ結晶コロイド塗布膜を活性層とした抵抗変化型メモリ素子の開発	神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻	助教 工学博士	加納 伸也	100
12	エレクトロニクス実装の信頼性向上を目指したウェットプロセスによる新規CTE制御メタライズ膜の創製	京都市産業技術研究所表面処理チーム	次席研究員 理学修士	山本 貴代	100

2 平成29年度研究開発助成テーマの募集及び選考

平成29年度に助成するテーマを募集し、研究助成選考委員会で選考の上、第2回定時理事会の承認を得て助成テーマを決定した。

ア 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある理工学部系の大学等に在籍する40歳未満の研究者

イ 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの ・材料技術・機械技術・電気電子技術

ウ 募集期間 平成28年11月1日から平成29年1月20日まで

エ 応募テーマ数 59テーマ

オ 助成テーマ数 13テーマ

カ 助成金総額 1,300万円

キ 研究助成選考委員会の開催状況

開催年月日	議 題
第1回 平成28年12月14日	1 委員長の選任について 2 平成29年度研究開発助成テーマの審査・選考方法について
第2回 平成29年2月23日	平成29年度研究開発助成テーマの選考について

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興を担う人材を育成する事業を行った。

1 技術セミナー

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を支援するため、基盤技術の熟成発展に役立つ先端技術シーズや研究の最前線の状況を基礎から紹介する技術セミナーを開催した。

また、共催している京都府中小企業技術センターと協議し、2の技術研究会とともに平成29年度に向けて事業の見直しを行った。

ア 名称 平成28年度ものづくり基盤技術セミナー

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室

エ 内容

	開催日・テーマ等
第1回	日時 平成28年7月29日（金） 14:00～16:30 テーマ 「量子エネルギー変換材料の開発とそのセンサー応用」 講師 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授 柳田 健之氏 参加者 13名
第2回	日時 平成28年9月5日（月） 14:00～16:30 テーマ 「産総研での機能性ナノ材料の開発」 講師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター 所長代理 松原 一郎 氏 参加者 18名
第3回	日時 平成28年11月10日（木） 14:00～16:30 テーマ 「触覚の主観性とその応用可能性 ～ 触覚技術が拓く新しい価値」 講師 名古屋工業大学電気・機械工学専攻 准教授 田中 由浩 氏 参加者 21名
第4回	日時 平成29年1月31日（火） 14:00～16:30 テーマ 「さまざまに展開するファインバブル技術と水質浄化・植物栽培への適用」 講師 滋賀県立大学工学部機械システム工学科 教授 南川 久人 氏 参加者 25名

- 平成29年度は、ものづくり技術開発の高度化を促進するため、新機能材料、表面処理技術、精密加工技術、計測評価技術などの先端的技術情報に関する「ものづくり先端技術セミナー」を4回開催することとなった。また、セミナーへの参加を促進するため、参加費（1,000円）を徴収しないこととした。

2 技術研究会

(1) CAE技術研究会

CAE (Computer Aided Engineering) の概説、実習、事例研究等を通じて、設計者が生産プロセス開発に必要なデータの収集・解析など日常業務に活用できる技術を修得することを目的にCAE技術研究会を開催した。

ア 名称 CAE技術研究会
 イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場所 京都府産業支援センター5階 交流サロン
 エ 参加者 関連企業の技術者・研究者 (新規4名、継続3名)
 オ 講師 田村技術士事務所・京都府特別技術指導員 田村隆徳氏
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井貴之氏
 カ 内容

例会	開催日	内容
平成28年 4月度	4月22日(金)	CAE概論の講義、課題説明
5月度	5月13日(金)	ADINAの操作説明と習得 複雑な形状の線形解析の習得 材料力学の基礎の習得
6月度	5月30日(金) 6月10日(金) 6月24日(金)	線形構造解析の実習 非線形構造解析の習得 CAEの非線形解析実習
7月度	7月8日(金) 7月22日(金)	熱の定常解析及び非定常解析の習得 CAEの熱モデル解析実習
8月度	8月5日(金) 8月26日(金)	熱応力解析の習得 CAEの熱応力モデル解析実習
9月度	9月9日(金) 9月23日(金)	振動解析の習得 事例研究の準備
10月度	10月14日(金)	事例研究
11月度	11月11日(金)	事例研究
12月度	12月7日(水)	事例研究
平成29年 1月度	1月13日(金)	事例研究
2月度	2月10日(金)	事例研究
3月度	3月17日(金)	成果発表会・講演

※開催時間は、いずれも10:00~17:00

○ 平成29年度は、平成28年度と同様、例会を17回開催することとなった。

(2) DLC製膜技術研究会

高硬度、低摩擦係数、耐食性など優れた特性を有するDLC (Diamond-Like Carbon) 膜が自動車部品、金型等に利用され、今後更に新たな用途への展開が期待される中、ものづくり企業がDLC膜について実践的な検討を行い、新分野・用途への展開につなげるため、DLC製膜技術研究会を開催した。

ア 名称 DLC製膜技術研究会
 イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室
 エ 講師 京都工芸繊維大学大学院機械システム工学部門 助教 中村守正 氏

	開催日・テーマ等
オープン セミナー	<p>日時 平成28年12月16日(金) 14:00~16:30 参加者 19名 テーマ 「水素フリーDLCの創り方・使い方」</p> <p>【講演1】 「水素フリー高密度DLCの特徴、成膜法、そして応用」 豊橋技術科学大学電気・電子情報工学系教授 滝川 浩史 氏 DLCの特徴、特性、成膜法、多様なDLCの分類について解説いただいた後、DLCの中でも水素フリーで、かつ高密度のDLCを形成するフィルタードアーク蒸着装置及び同装置を用いて形成したDLCの応用について紹介いただいた。</p> <p>【講演2】 「水素フリーDLC膜の応用と今後の展望」 日本アイ・ティ・エフ株式会社 三宅 浩二 氏 土屋 宏之 氏 高硬度で優れた摺動特性を有する水素フリーDLC膜の特性と摺動部品、工具・金型での製品化事例、今後の展望について紹介いただいた。</p>
オープン セミナー	<p>日時 平成29年1月30日(月) 14:00~16:30 参加者 23名</p> <p>【講演1】 「DLC膜・硬質薄膜等のマイクロスラージェットエロージョン(MSE)法による表面強度評価」 福井大学工学部技術部第一技術室技術職員 高澤 拓也 氏 数μmのセラミックス粒子等を含む水噴流の投射による微小なエロージョンを利用した表面強度評価法(MSE法)の原理と特徴及び有用性について、次いでTiN、TiAlN及び各種DLC膜の硬質薄膜や超硬合金でのMSE試験結果とそれらのメカニズムについて説明いただいた。</p> <p>【講演2】 「カソード結合型CVD装置でのDLC薄膜形成技術とその実例~PETボトルへのコーティング等~」 サムコ株式会社開発部プロセス開発課 古田 真浩 氏 該社の特徴的な成膜技術であるカソード結合型PECVDやLiquid Source CVDによるDLC成膜データの紹介の後、ペットボトルへのコーティングの実例を紹介いただいた。</p>

- 本研究会は、平成28年度をもって終了し、平成29年度以降は京都府中小企業技術センターにおいて個別に技術相談・技術支援を行うこととなった。

(3) 京都品質工学研究会

将来起こるかもしれない製造上のトラブル等を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率良く開発するための手法として広く活用されている品質工学を学び、実践し、交流する場として京都品質工学研究会を開催した。

ア 名称 京都品質工学研究会
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室
エ 参加者 法人会員14名、個人会員4名

例会	日時	内容
第1回	5月27日(金)	講演「企業内でのQEの普及推進～活用成果を出すために」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第2回	6月10日(金)	講演「機能性評価」及び事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル中野 恵司 氏
基礎学習会	7月8日(金)	講演「品質工学概論・機能性評価、パラメータ設計の進め方」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第3回	8月5日(金)	京都・滋賀・関西・中部の各品質工学研究会の合同例会
第4回	9月9日(金)	講演「MTシステム」及び相談発表 講師：(有)アイテックインターナショナル中野 恵司 氏
第5回	10月6日(木)	関西地区品質工学合同シンポジウム(大阪市)
第6回	11月22日(火)	講演「これでわかった！超実践 品質工学～絶対にはずして はいけない機能・ノイズ・SN比の急所～」 講師：三菱電機株式会社 鶴田 明三 氏
第7回	12月9日(金)	講演「発注先の技術力と製品性能を見極める評価手法と解析技術」及びグループディスカッション 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第8回	2月10日(金)	講演「損失関数について」と事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野 恵司 氏
第9回	3月10日(金)	グループワーク「デジタルカメラ試作品の性能評価」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏

○ 平成29年度は、例会を6回、基礎学習会を1回開催し、個別課題相談を充実することとなった。

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生や大学生等を対象に斬新で独創的なアイデアを募集し、書類選考を経てコンテスト（発表・最終審査）を行い、優れたアイデアを表彰した。また、特別講演、特許出願等の相談及び参加者・選考委員等による交流会を開催した。

なお、今回はテクノ愛創設20周年に当たることから、これを記念し、コンテスト前日に京都工芸繊維大学で開催された「第13回全国VBLフォーラム」との共同開催とした。

(1) 主催等

ア 名称	テクノ愛2016
イ 主催	テクノ愛実行委員会
ウ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都大学産官学連携本部
エ 後援	文部科学省、近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
オ 協賛	国立研究開発法人科学技術振興機構、大阪大学産学連携本部、神戸大学連携創造本部、京都工芸繊維大学研究戦略推進本部、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
カ 協力	京都大学生協同組合

(2) 募集等

ア 募集対象	高校の部：高校生、高等専門学校1～3年生 大学の部：大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生、専攻科生等
イ 募集期間	平成28年6月1日～平成28年9月12日
ウ 応募状況	高校の部 18校・173件 大学の部 9校・43件 合計 216件

(3) コンテスト等の開催

書類審査により選考された高校の部、大学の部それぞれ9件についてコンテスト（発表・最終審査）を行うとともに、特別講演、特許相談及び交流会を開催した。

ア 日時	平成28年11月23日（水曜日・祝日） 9:00～18:00
イ 場所	コンテスト：京都大学国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール 交流会：京都大学国際科学イノベーション棟 ホワイエ
ウ 入賞	高校の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件 大学の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件 総合の部：テクノ愛賞1件、20周年記念特別賞1件 ※入賞の内容は、下記一覧表のとおり
エ 特別講演	演題：「アイデアを実現すること—アントレプレナーシップを学ぶことの意義とは？」 講師：京都工芸繊維大学大学戦略推進機構 特任准教授 津吹 達也 氏
オ 特許相談	特許の出願方法等に係る相談
カ 参加者	102名

テクノ愛2016入賞アイデア等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	サラダふき	青森県立名久井農業高等学校	福田 将大 井戸上真衣 坂野 友祐 久保沢翔太 市沢 憲慎
準グランプリ	ディンプルによる風力発電機の性能向上	福岡県立香住丘高等学校	長崎 秀斗 谷原 空 樋口 聖弥 坂本 茜
優秀賞	電力未供給地域に適応したリサイクル発電材料の開発	米子工業高等専門学校	岡 あまね 木内 亜美
奨励賞	光によるカブの生育促進技術	青森県立名久井農業高等学校	市沢 憲慎 井戸上真衣 坂野 友祐 久保沢翔太 福田 将大
	カキ殻を用いた遮熱塗料の開発	広島大学附属高等学校 科学研究班	梶江 亜未 太田 穂南 松林可那子
	つり革でスマホの充電	祐誠高等学校	中司 雄大
	外部からの電力供給を必要としない次世代の超小型モータ	名城大学附属高等学校	鈴木 健介 島田 悠愛 玉腰 昌司
	植物切片の褐変を用いた化粧品の評価方法～人体を用いないUV保護評価法開発を目指して～	米子工業高等専門学校	村田 陵河 中島 邑杜 秋山 立樹
	モスキーラタイル	和歌山工業高等専門学校	岡田 卓真 中村 京香 塩崎 悠菜 酒井 麻佑

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	ハシリヤ HASHIRIYA	京都工芸繊維大学大学院	樋口 葉介 古橋 翔吾 石河泰治朗 小坂 諒
準グランプリ	月升 GESSHO	京都工芸繊維大学大学院	関 みさき 中野 圭 塚本カイノ YANG QIYU PHAMTRUONG HONG NGAN
優秀賞	ZOK ² (ゾクゾク) ホームシアター用心拍増減共有器	京都工芸繊維大学大学院	中田 悠理 浜野 雅史 末次 雄介 石田 央一

奨励賞	卵殻膜の「守る」機能で色素増感太陽電池を改良する	米子工業高等専門学校	田原早央 前田 千澄
	s e n d o. ～お祝いのお金で買った物を大切に～	京都工芸繊維大学大学院	廣田 敦士 小川 晶弘 昌元 志織 高橋 祐貴
	「ゆび子」にとまれ ～約束を豊かにする未来の指～	京都工芸繊維大学大学院	高井 利将 宇都宮里梨子 中村 夏海 福田 遼 吉田真保子
	持続可能な食の生産消費を～Food Scanner2000 を添えて	首都大学東京大学院	中村 芽莉 佐藤陽太郎 Paolo Nicolo C. Perez 童 馨 徐 航 Abbas Mannan jhabuawala Mohamed Rashid AL Ghailani Sarah Strugnell
	目がダメなら手を使おう！～触覚データから画像認識性能を向上させる方法～	京都産業大学	石橋 陽一
	プレミィ 小さくなる体験 ～play minimum～	京都工芸繊維大学大学院	保澤 志帆 飯田 真彩 西關 勇貴 東 翔大 吉崎 美紗

<テクノ愛賞・20周年記念特別賞>

賞名	テーマ	学校名	氏名
テクノ愛賞	外部からの電力供給を必要としない次世代の超小型モータ	名城大学附属高等学校	鈴木 健介 島田 悠愛 玉腰 昌司
20周年記念特別賞	目がダメなら手を使おう！～触覚データから画像認識性能を向上させる方法～	京都産業大学	石橋 陽一

(4) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	主な議題	備考
第1回 平成28年7月26日	1 実行委員会委員長の選任について 2 開催要領について	書面会議
第2回 平成28年11月23日	1 コンテスト、表彰、交流会について 2 次年度計画について	京都大学
第3回 平成29年2月27日	1 テクノアイデアコンテストの改善・見直しについて	書面会議

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	主 な 議 題	備 考
第1回 平成28年9月14日 ～10月18日	1 平成28年度応募アイデアの選考について (一次審査・二次審査) 2 特許調査について	書面審査
第2回 平成28年11月23日	1 平成28年度テクノアイデアコンテストの最終審査について	京都大学

○ 運営方法の改善・見直し

テクノ愛2016の振り返りや参加者等へのアンケート結果を基に実行委員会委員、選考委員会委員等に意見照会し、これを踏まえて実行委員会（書面会議）において次の改善・見直しを行うこととなった。

- ① 開催計画の骨子を早期に決定・広報することにより、応募数の増加につなげる。
- ② 発表に不慣れな高校生が準備に時間を取ることができるよう、書類審査等の日程を極力前倒しする。
- ③ プレゼン資料の事前送付、特別講演の廃止、表彰式の簡素化により、コンテスト当日の作業・イベントを減らし、円滑かつゆとりある運営とする。

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生の科学技術への関心を高めるため、夏休み期間を利用して、世界トップクラスの電子部品メーカーである株式会社村田製作所の八日市事業所を訪問し、研修会を開催した。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 主 催 公益財団法人京都技術科学センター
- (3) 後 援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
- (4) 日 時 平成28年8月3日（水） 13:45～16:15
- (5) 場 所 株式会社村田製作所八日市事業所（滋賀県東近江市東沖野4-4-1）
- (6) 参加者 中学生・高校生及び教員等 41人
- (7) 内 容 村田製作所の歴史、社是、ものづくりの現状や考え方及び超微細コンデンサなど同社の製品についてパワーポイントや現物供覧により説明を受けた後、工場を見学、製造工程の説明を受けた。また、自転車型ロボットであるムラタセイサク君の実演や操作体験、チームワークが特長のロボット集団・チアリーダー部のビデオ鑑賞をした。

参加者は、超微細なコンデンサや倒れない自転車型ロボットを作ることができる技術力、製品がスマホやパソコン、自動車など幅広い分野で使用されている実態、海外での売り上げシェアが90%以上という国際性に驚くとともに、製造工程がロボット等の最新技術で自動制御されている実態にも目を見張った。また、進路を考えるきっかけになったという高校生、社是など企業の理念と企業の発展の関係性に思いを巡らす教員もいた。

この研修を通じて、「中学生・高校生の科学技術への関心を高め、わが国の産業の発展に寄与する」という所期の目的を達成することができた。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、実験教室を開催した。

(1) 主催等

- ア 主催 公益財団法人京都技術科学センター
- イ 後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会
- ウ 協力 サイエンスEネット

(2) 開催状況

(第1回)

- ア 名称 クリスマスの実験教室
- イ 日時 平成28年12月25日(日) 13:30~15:30
- ウ 場所 公益財団法人京都技術科学センター ホール
- エ 参加者 小学生43名(親子35組)
- オ プログラム
 - ① ブラックライトLEDプレート暗箱の解説
講師の東京理科大学・川村康文教授から、光の全反射の性質を利用した今回の実験工作について、やさしく・楽しく解説していただいた。
 - ② ブラックライトLEDプレート暗箱の工作
暗箱を組み立てた後、ブラックライトLEDのスイッチを入れ、好きな模様を削って描いたアクリルプレートが乱反射し、可視光の紫色に光って見えること等を観察した。

(第2回)

- ア 名称 春の実験教室
- イ 日時 平成29年3月12日(日) 13:30~15:30
- ウ 場所 公益財団法人京都技術科学センター ホール
- エ 参加者 小学生40名(親子33組)
- オ プログラム
 - ① 雷対策実験器の工作と実験
講師の東京理科大学・川村康文教授から、雷から身を守る対処法について学んだ後、雷対策実験器を工作し、圧電素子から発生させた疑似雷が、アルミ板で作った雲から避雷針(鉛筆の芯)や模型の家などに落ちる様子について観察した。
また、川村教授が作製された大型雷実験機による避雷体験をした。
 - ② 地震対策実験器の工作と実験
耐震・免震・制震構造について学んだ後、地震対策をしている模型の家と地震対策をしていない模型の家を工作し、どれが一番揺れ(地震)に耐えられるかを検証した。

6 科学技術情報等提供

ホームページ(HP)を活用し、当センターが実施する事業に関する情報を提供し、応募者や参加者の拡大を図った。また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテストの入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

その他、当センターの沿革・概要、事業計画・事業報告、収支予算・決算状況をHPに掲載した。

平成29年1月に京都府中小企業技術センターのHPに当センターのバナー(当センターHPにリンクできるボタン)を設置してもらった。次いで、同年2月に当センターHPに「入居者のご紹介」のページを新設した。これらにより、当センターHPへのアクセス件数が飛躍的に増加した。

Ⅲ 収益事業

本法人が所有する建物・土地を事務室、研究室、倉庫、収納庫及び駐車場として賃貸するとともに、会議室・ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 施設の賃貸

(1) 利用者増加の取組

HPで貸室の空き情報等の広報を行うとともに、施設の環境改善を行った。

- ・HPに「入居者のご紹介」ページの新設
- ・本館の壁面・ドア等のクリーニング、B会議室の机・椅子の更新

(2) 利用状況 (①～③は平成29年3月31日現在)

①事務室・研究室・倉庫の利用団体数	35団体	(平成27年度	34団体)
②収納庫使用室数	20室	(同	21室)
③駐車場使用台数	39台	(同	35台)
④会議室等利用件数	94件	(同	154件)

2 建物・設備等の管理

(1) 保守管理

例年行っている廊下・トイレの日常清掃、床面・エアコン・窓ガラスの定期清掃等のほか、臨時的に壁面・ドア等のクリーニング(248,400円)を行った。

(2) 改修工事

- ・本館1階貸室のエアコン更新工事(354,888円)
- ・本館1階貸室の配電盤等増設工事(160,920円)

(3) 修繕工事

- ・湧水排水設備修繕工事(486,000円)
- ・本館1階男子トイレ污水管改修工事(145,800円)
- ・天井漏水対策工事(2件、170,640円)
- ・ドア・錠修繕工事(11件、144,396円)
- ・照明器具等修繕工事(5件、131,436円)
- ・排水管等修繕工事(5件、112,535円)
- ・消防用設備修繕工事(3件、63,288円)

(4) 備品の購入

B会議室の跳ね上げ式会議机16台(356,400円)と折りたたみ椅子50脚(303,750円)を購入した。

(5) その他

ア 外構補修工事

平成28年度に実施する予定であった外構補修工事(予算額2,200,000円)は、実施に必要な条件が整わず、平成30年度に繰り延べることとなった。

イ 建物・設備診断

当センターの建物・設備等が老朽化していることから、計画的な施設改修・設備更新等を行うための建物・設備診断を平成29年度に実施することとなった。

IV センターの運営

1 センターの概要（平成29年3月31日現在）

設 立	昭和17年12月28日	財団法人京都技術科学館として設立
	昭和35年12月27日	財団法人近畿地方発明センターに名称変更
	平成24年4月1日	公益財団法人京都技術科学センターに名称変更
評議員	13名	
役 員	16名（理事14名 監事2名）	
委 員	研究助成選考委員会委員	6名
	長期ビジョン検討委員会委員	8名
	建物等管理委員会委員	5名
	テクノ愛実行委員会委員	6名
	同 選考委員会委員	12名
事務局	常務理事1名、事務局長1名、参事1名	

2 理事会の開催状況

開 催	議 題	備考
平成28年度 第1回定時理事会 平成28年5月26日	I 決議事項 1 平成27年度事業報告の件 2 平成27年度決算の件 3 平成28年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について 2 研究開発助成審査選考要領案について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について	
平成28年度 第1回臨時理事会 平成28年6月14日	I 決議事項 1 理事長、副理事長及び常務理事選定の件 2 顧問委嘱の件 3 事務局長任命の件 4 常務理事退職慰労金承認の件 5 委員会設置の件 II 報告事項 1 研究助成委員会について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について	
平成28年度 第2回臨時理事会 平成28年10月27日	I 決議事項 1 長期ビジョン検討委員会委員の選任の件	決議の省略
平成28年度 第3回臨時理事会 平成29年1月24日	I 決議事項 1 建物等管理委員会委員の選任の件	決議の省略

平成28年度 第2回定時理事会 平成29年3月22日	I 決議事項 1 平成29年度事業計画書の承認の件 2 平成29年度収支予算書等の承認の件 3 平成29年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2 外構補修工事について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について	
----------------------------------	--	--

3 評議員会の開催状況

開催	議 題	備考
平成28年度 定時評議員会 平成28年6月14日	I 決議事項 1 評議員選任の件 2 役員選任の件 3 平成27年度事業報告の件 4 平成27年度決算承認の件 II 報告事項 1 建物賃貸借契約の状況について	

4 監事監査

開催	内 容	備考
平成28年5月17日	平成27年度事業報告及び決算の監査	

5 長期ビジョン検討委員会の開催状況

開催	内 容	備考
平成28年12月15日	1 委員長の選任について 2 当センターの現状と課題について 3 今後の検討スケジュールについて	
平成29年3月14日	1 アンケートの結果について 2 課題に係る対応案の検討について	

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成28年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。